

## アフターサービス

▼ 修理を依頼されるとき、アフターサービスについてご不明なとき  
取扱説明書内の「故障かな?と思ったら」を確認しても直らない場合にはお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」に修理をご相談ください。

▼ 保証期間中の無料修理  
本書内の「無料保証規定」に従って、無料修理いたします。保証書に必要事項(お買い上げ日、お客様ご住所、お客様お名前、お客様電話番号、販売店住所、販売店名、販売店電話番号)が記載されていることを確認し、当製品に添えてお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」へお申し付けください。

▼ 保証期間経過後の修理  
お求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」で有償修理を承ります。

※外装部品やその他の付属品についての修理、製品交換などには類似の代替品を使用する場合があります。

## 無料保証規定

- 本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
- 本書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、当製品と保証書(本書)をお求めの販売店へご持参いただくか弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
  - ご転居、ご贈答品などで、お求めの販売店に修理依頼できない場合には、弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
  - 保証期間内でも、次のような場合には、有料修理となります。
    - ご使用上の誤りや不当な修理・改造・分解による故障や損傷。
    - お買い上げ後の転倒や落下、輸送等による故障及び損傷。
    - 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天変地変、公害や異常電圧、指定外の使用電源などによる故障や損傷。
    - 一般家庭以外(例えば業務用の長時間使用など)でのご使用による故障や損傷。
    - 保証書(本書)のご提示がない場合。
    - 保証書(本書)に必要事項(お買い上げ日、お客様ご住所、お客様お名前、お客様電話番号、販売店住所、販売店名、販売店電話番号)の記入がない場合、あるいは保証書(本書)上の字句などが書きかえられている場合。
    - ご使用上のキズ、変色、汚れなど。
    - 運賃、諸係費用は基本的にお客様にてご負担になります。
  - 当製品の保証書(本書)は日本国内においてのみ有効です。  
This Warranty is valid only in Japan.
  - 当製品の保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
  - お客様にご記入いただいた保証書内の個人情報、修理・サービスに利用させていただく場合がございます。

## 保証書

本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください

品名：ルナセーブ

製品型番：YW9143

保証期間：お買い上げ日より1年間

お買い上げ日：

お客様ご住所：

お客様お名前：

お客様電話番号：

販売店住所：

販売店名：

販売店電話番号：

販売店様へ  
ご販売時に貴店にて、保証書の所定事項(お買い上げ日、貴店住所、貴店名など)をご記入の上、当製品をご購入いただいたお客様にお渡しください。

よくしにさんぎょう

輸入・発売元：株式会社 芳国産業

電話番号：03-3843-7841(お客様相談室係)

郵便番号：111-0043

住所：東京都台東区駒形2-4-11

(受付時間：土・日・祝日・長期休暇期間を除く、平日午前10時～午後5時まで)

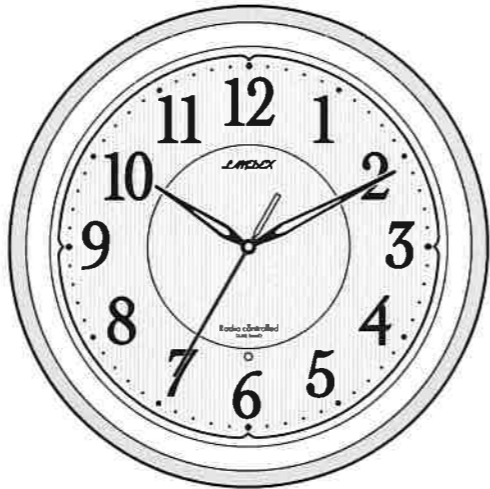
この商品に関するお問い合わせをいただく際は、商品名(ルナセーブ)もしくは製品型番(YW9143)をお申し出いただくと、より円滑にご相談いただけます。

by LAMDEX

## 畜光文字盤の電波掛時計

## ルナセーブ

## 取扱説明書(保証書付)



この度は当製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく使用いただきますよう、お願い申し上げます。なお、読み終わったあともお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

## 製品仕様

商品名：ルナセーブ

製品型番：YW9143

使用環境温度：0℃～+40℃

時間精度(常温中)：±1秒/月(標準電波の受信に成功した直後)  
±30秒/月(標準電波を受信していない場合)

自動受信①：秒針を“12時”の位置に止めて標準時刻電波を受信  
(1日3回⇒午前2時17分、午前3時17分、午前6時17分)

自動受信②：秒針が動いたままで標準時刻電波を受信  
(1日4回⇒午前10時17分、午後2時17分、午後6時17分、午後10時17分)

使用乾電池：単3型乾電池1本(アルカリ乾電池推奨)

電池寿命：約10ヶ月(標準電波の受信状況、ご使用状況によります)

付属品：単3型乾電池1本(お試用)、掛け金具1本、取扱説明書(保証書付)⇒本書

主な機能：標準時刻電波受信機能、標準時刻電波受信“オフ”機能、秒針停止機能

主な材質：PS樹脂

本体サイズ：320×320×48 mm

生産国：中国

▼ 付属の電池は工場出荷時に納められたもので、寿命が短くなっている場合があります。

▼ 一部の高性能電池は初期電圧が高いため、当製品の使用に不向きな場合があります。

▼ 製品仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。

▼ 印刷による制限のため、この取扱説明書の図が実際の製品と異なる場合があります。

IM No. YW9143-2

## 電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準電波は独立行政法人情報通信研究機構が運用しており、現在は福島県の「おたかどや山(40kHz)」と、福岡県と佐賀県の県境の「はがね山(60kHz)」の2ヶ所から送信されています。これらの電波は条件の良いときは送信所から1,000km～1,200km離れた場所でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・置き場所・時計の向き・地形・建物・時間帯・周辺環境などの影響で受信できない場合があります。その場合はクォーツ時計として製品仕様に記載された精度で作動します。



標準電波・電波送信に関する詳しい情報はこちらのホームページをご覧ください。

＜独立行政法人情報通信研究機構＞

<http://jij.nict.go.jp/>

※送信設備のメンテナンスなどにより電波が停波される場合がございます。

※上記 URL は予告なく変更される場合があります。

## 電波時計の使用場所について

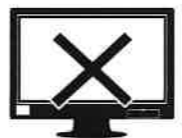
下記のような場所では標準電波を受信できない場合があります。



● マンションやビルなどの地下



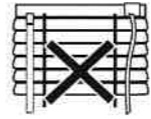
● 高压線、テレビ塔や電車の高架橋の近く



● 電化製品やOA機器の近く



● 自動車、電車、飛行機などの乗りものの中



● 金属製の雨戸やブラインドの近く

- 工事現場、空港、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 金属製の家具の上など、電波を遮断する所。
- 周囲が山やビルなどに囲まれ、標準電波の入りが悪い所。

## 標準電波の受信について

電波発信局の方角に近い窓際に置いて受信させてください。受信しない場合は場所を変えて受信させるか、電池を一旦取り外し夜間に受信しやすい窓際に電池をセットして朝まで様子を見てください。夜間は昼間と比較して受信しやすい傾向があります。



標準電波を受信しにくい場合

電池をセットしたら、受信が完了するまで窓際に置いてください。窓際であっても建物の構造や気象条件などにより、標準電波を受信しにくい場合もあります。



ご使用中に時刻が合わなくなってきた場合

標準電波を受信していない可能性があります。電池の消耗が考えられる場合は新しい電池に交換し、標準電波を受信しやすい窓際の近くに移動して、ご使用ください。

※上の写真は使用場所のイメージです。写真中の展示物は付属品ではありません。  
※当製品を窓際に置く場合、直射日光が当たるなどして高温になる場所での使用はお控えください。また当製品が雨などに濡れないようご注意願います。

## 安全上のご注意(必ず守ってください)

ここに示す内容は、商品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。ご使用前によくお読みのうえ、お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示内容を無視して、誤った使い方により生じる損害や危害の程度を区分する記号	
⚠ 警告	人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性や、物的損害が生じる可能性を示しています。
必ずお守りいただく行為(強制)と禁止行為を区分する記号	
🚫	絶対にしてはいけない禁止行為を示す記号です。
🛑	必ず守らなければならない行為(強制)を示す記号です。

### 【電池について】

- 🚫 ・分解、ショート(短絡)などをしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。
- ⚠ 警告 また、火中に入れる、強い衝撃を与えるなど、絶対にしてはなりません。
- 🛑 ・電池からもれた液が目に入った場合は、失明する恐れがありますのですぐきれいな水で洗い直ちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣類などに付着した場合にはきれいな水で洗い流してください。
- 🛑 ・プラス(+)、マイナス(-)の方向を正しく入れてください。
- ⚠ 注意 ・長時間使用しないときは、電池を必ずはずしてください。液もれにより当製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- 🚫 ・電池に直接ハンダ付けをしたり、水で濡らしたりしないでください。液もれや破損などの恐れがあります。
- ⚠ 注意 ・電池を保管する際は高温・高湿な場所や直射日光が直接あたるところは避けてください。また、使用済みの電池はお住まいの地区自治体の廃棄方法に従って、速やかに廃棄してください。液もれや破損などの恐れがあります。
- ⚠ 注意 ・電池の端子の汚れにより、当製品が使用できない場合があります。その際は乾燥したやわらかい布などで電池の端子を拭いて汚れをとってからご使用ください。
- 🚫 ・電池に推奨使用期間が表示されている場合、期間を過ぎた電池のご使用はお控えください。液もれや破損などの原因になります。

🛑 ・当製品が使用可能でも液もれなどを防ぐために、定期的に電池交換をしてください。

### 【誤飲による事故防止について】

- 🚫 ・電池や部品は幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合、はすぐに医師の治療を受けてください。

### 【梱包用袋について】

- 🚫 ・梱包用の袋は絶対にかぶらないでください。また、幼児の手の届く所に置かないでください。

### 【分解禁止について】

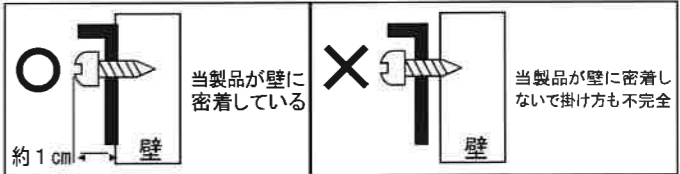
- 🚫 ・当製品を分解したり、改造しないでください。故障の原因になります。

### 【時計の掛け金具について】

- 🛑 ・当製品を掛ける壁の材質・構造をご確認のうえ、当製品の重さに耐えられる掛け金具をお選びください。

### 【時計の掛け方】

当製品を掛けるときは、必ず垂直な壁に取り付け、上下左右に軽く動かして確実に掛かっているかを確認してください。掛け方が不十分ですと当製品が落下し、けがや当製品の破損などの原因となります。



### 【使用場所について】

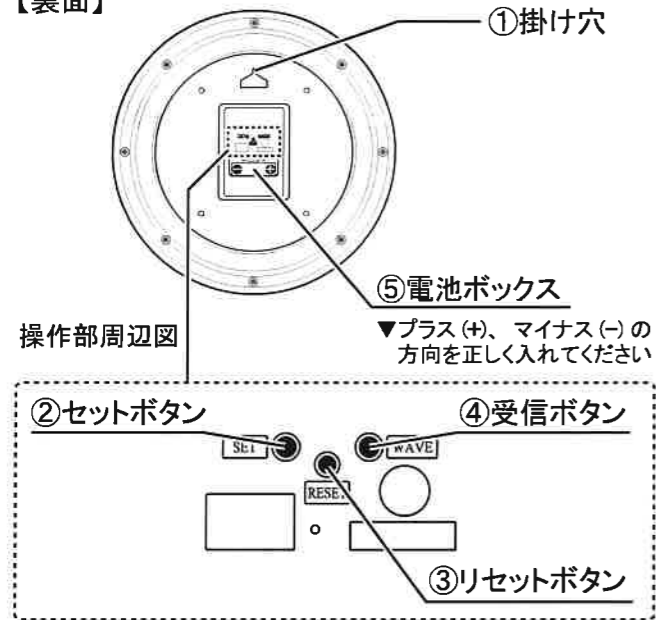
- 下記のような所では使用しないでください。
- ・温度が+40℃を超える所。例えば、直射日光や暖房器具の熱風が当たる所、火気に近い所や屋外など。
- ・温度が0℃より下になる所。
- ・ほこりや塵が多い所。
- ・湿気が多いところ(加湿器の蒸気があたる所など)、水が直接掛かる所(当製品は防水ではありません)。
- ・強い磁気のある所、激しい振動のある所。
- ・多くの油を使用する所。
- ・当製品が倒れたり、落ちたりするような不安定な所。
- ・ビニール系素材の敷物や壁の上など(敷物や壁、当製品が汚れたり、傷んだりすることがあります)。
- ・幼児の手の届くところ
- ・防虫剤などのすぐそば。

### 【ご注意：LED照明の部屋で本品をご使用の場合】

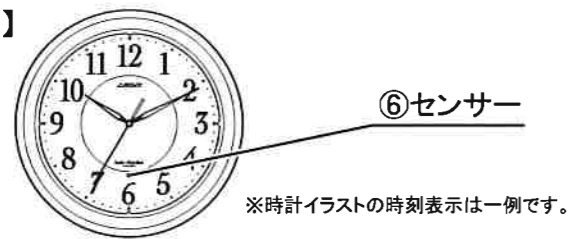
この時計の文字板は紫外線を含んだ光(例：蛍光灯)により励起され、光を蓄え発光します。LED照明のお部屋で本品をご使用の場合、LEDの波長が自然光・蛍光灯と違って光が文字板に蓄積されにくいいため、発光が弱く短くなる場合があります。この現象は、蓄光能力が最も高くなる波長域との間に差があることによるものです。蓄光の能力を引き出すためには、本品を蛍光灯下でご使用いただくことをおすすめいたします。

## 各部の名称

### 【裏面】



### 【正面】



## 文字盤発光について（蓄光文字盤）

当製品の文字盤には蓄光塗料が印刷されています。蓄光塗料は蛍光灯などからの光を蓄えることで暗闇で発光します。ご使用いただくお部屋を消灯した直後は明るく光り、時間の経過とともに徐々に発光が弱くなっていきます。発光をはじめから消えるまでの時間は光を蓄えるときの明るさ・時間、文字盤と光源の距離や角度、光源の性質、ご使用される方の視力などによって異なります。当製品の最長発光時間の目安は約2時間ですが、この最長発光時間は蓄光塗料が光を蓄える際の条件によって異なります。

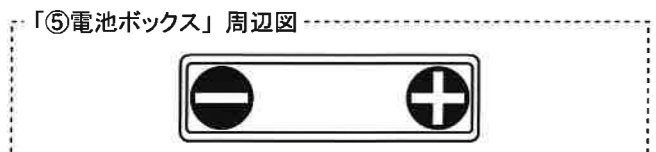
▼LED電球、LED蛍光灯、白熱電球など、一部の光源では蓄光しにくい場合があります。

## ご注意！当製品は電気で光る文字盤ではありません

## ご使用方法

### 【1】電池を入れる

単3型乾電池1本を「⑤電池ボックス」に電池のプラス(+)、マイナス(-)の方向を正しく入れてください。絶縁シートなどが付いている場合は取り外してからご使用ください。



- ▼付属の電池は工場出荷時に納められたもので、寿命が短くなっている場合があります。
- ▼一部の高性能電池は初期電圧が高いため、当製品の使用に不向きな場合があります。
- ▼電池のプラス(+)、マイナス(-)を間違った方向に入れ、放置しないでください。当製品の故障の原因となる場合や、電池の発熱、液もれなどの原因となります。
- ▼電池交換の際はアルカリ単3乾電池をおすすめいたします。

### 【2】「③リセットボタン」を押す

「③リセットボタン」を先端の細いものを使って押してください。  
▼先端の細いものを使って「③リセットボタン」を押す場合、身体や当製品を傷つけないよう、十分ご注意ください。

### 【3】標準電波の受信をはじめる

「③リセットボタン」を押すと、時・分・秒針が高速で動きはじめ、「12時」の位置で全ての時計針が停止し、自動的に受信を開始します。

▼正しく標準電波を受信するために、取扱説明書内の「電波時計の使用場所について(裏面)」および「標準電波の受信について(裏面)」をご参照ください。

▼受信中は当製品を動かさないでください。受信中に当製品を動かすと、標準電波を正しく受信できない場合があります。

▼受信に要する時間は約3分から約16分です。この間に受信しない(現在時刻を表示しない)場合は取扱説明書内の「【4】受信結果」の「× 受信失敗」をご参照ください。

### 【4】受信結果

#### ○受信成功

標準電波の受信に成功すると時・分・秒針が高速で動きはじめ、現在時刻を示します。

#### × 受信失敗

標準電波の受信に失敗すると、受信を開始してから約16分後に「12時」の位置から秒針が動きはじめます。このような場合は下記の(対処1)~(対処3)のいずれかの方法をお試しください。



#### (対処1)

取扱説明書内の「電波時計の使用場所について(裏面)」および「標準電波の受信について(裏面)」を確認し、受信しやすい所に場所をかえて再度受信させる。

#### (対処2)

一昼夜様子を見る(昼間は標準電波の受信を阻害する電波が存在する可能性があります。夜間は昼間と比べると標準電波の受信を阻害する電波が少ないため、受信しやすい環境になる傾向があります)。

#### 夜間は昼間と比較して、電波を受信しやすい傾向があります

#### (対処3)

「【7】手動で任意の時刻にあわせる」を参照し、手動で時刻設定を行う。

### 【5】自動受信について

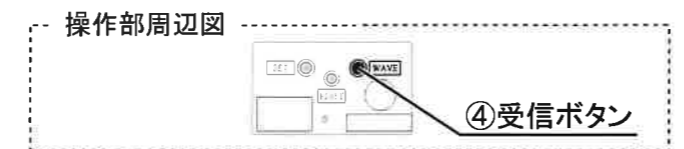
当製品はあらかじめ自動的に標準電波の受信を行う時刻が設定されています。自動受信で標準電波を正しく受信すると、受信した時刻に当製品は時刻修正を行います。

自動受信①: 秒針を「12時」の位置に止めて標準時刻電波を受信  
(1日3回⇒午前2時17分、午前3時17分、午前6時17分)

自動受信②: 秒針が動いたままで標準時刻電波を受信  
(1日4回⇒午前10時17分、午後2時17分、午後6時17分、午後10時17分)

### 【6】手動で受信させる

「④受信ボタン」を約4秒押し続けると、任意に受信を開始させることができます。このとき、時・分・秒針が高速で動きはじめ、「12時」の位置で停止し、受信を開始します。



- ▼この操作で受信に失敗した場合、受信をさせる前の時刻に戻ります。
- ▼この操作で受信中に「②セットボタン」を約4秒押し続けると、受信が中止され、手動で任意の時刻にあわせる状態になります。

### 【7】手動で任意の時刻にあわせる

当製品は手動で任意の時刻にあわせることができます。

「②セットボタン」を約4秒押し続ける  
⇒ 秒針が一旦停止し、「時刻合わせモード」になります。



“時刻合わせモード”中に「②セットボタン」を1回押す  
⇒ 時刻が1分進みます。

“時刻合わせモード”中に「②セットボタン」を長押し(約1秒)  
⇒ 早送りで時刻が進みます。

▼“時刻合わせモード”中に約5秒間操作を中断すると、“時刻合わせモード”が解除されます。

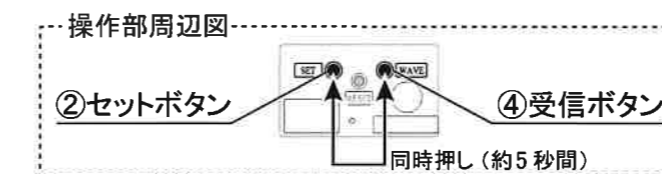
▼手動で時刻を合わせる場合、秒針を任意に操作することは出来ません。

▼手動で時刻を合わせても標準電波の受信機能が“オン”(「【8】標準電波の受信機能を“オフ”にする」参照)の場合、自動受信の時刻になると受信を開始し、標準電波の受信に成功すると時刻の修正を行います。

### 【8】標準電波の受信機能を“オフ”にする

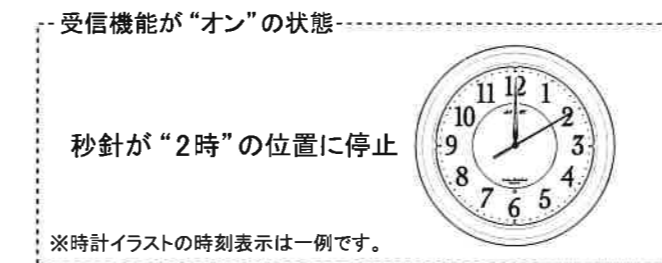
当製品は電波受信機能を“オフ”にすることで、通常のクォーツ時計としてご使用いただけます。時刻を任意にずらしてご使用になりたい場合や、受信が不安定な場所で電波を受信せずにご使用になる場合、電波受信出来ない場所(地下など)でご使用される場合に便利な機能です。

「②セットボタン」と「④受信ボタン」を同時に約5秒間押し続けると、秒針が高速で動き出し、「2時」もしくは「10時」の位置に停止します。



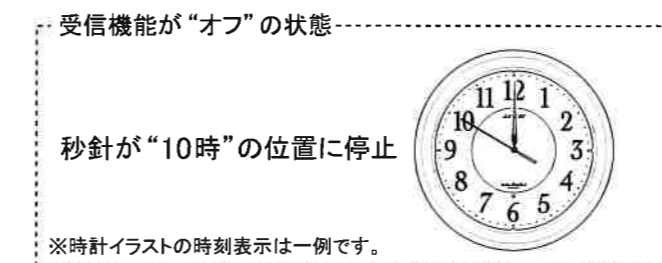
#### ・秒針が“2時”の位置に停止したとき

標準電波の受信機能が“オン”の状態です。当製品にプログラムされている時刻になると定期的に標準電波の受信を開始し、受信に成功すると時刻の修正を行います。



#### ・秒針が“10時”の位置に停止したとき

標準電波の受信機能が“オフ”の状態です。自動受信時刻になっても受信を行いません。また、「④受信ボタン」を押しても手動で標準電波の受信をさせることができません。



“オン”と“オフ”を切替えるには、再度「②セットボタン」と「④受信ボタン」を同時に約5秒間押しください。操作をすることにより“オン”と“オフ”を切り替えることができます。

▼標準電波の受信中は“オン”と“オフ”の切替えはできません。

▼当製品の初期設定(電池を入れた直後や、「③リセットボタン」を押した直後)段階では標準電波の受信機能は“オン”の状態になっております。

### 【9】秒針停止機能について

「⑥センサー」により、周囲の明るさを感知し、暗くなると秒針が“12時”の位置で停止し、電池の使用量を抑える機能です。周囲が明るくなると秒針が高速で移動して、通常の運針をはじめます。周囲の明るさが不足すると、昼間でも秒針停止機能が働くことがあります。



▼秒針停止機能を解除することはできません。

▼「⑥センサー」が明るさを感知するために時間がかかる場合があります。

### 【10】当製品を壁などに掛ける

取扱説明書内の「▼時計の掛け金具について(裏面)」および「▼時計の掛け方(裏面)」をよくお読みいただき、掛け金具に「①掛け穴」がしっかり掛かっていることをよく確認してください。

## 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理に出す前に下記の点をご確認ください。

#### ▼時・分・秒針が動かない

- ・標準電波の受信中  
⇒ 標準電波を受信すると、現在時刻を示します。
- ・電池が入っていない  
⇒ 電池が入っていない場合は電池を入れてください。
- ・電池のプラス(+)、マイナス(-)があていない  
⇒ 電池の方向をご確認ください。
- ・電池の容量が少なくなっている。  
⇒ 新しい電池に交換し、様子を見てください。
- ・静電気などの影響による誤動作  
⇒ 「③リセットボタン」を押して、様子を見てください。

#### ▼時間が合わない

- ・標準電波を受信しにくい環境にある  
⇒ 取扱説明書内の「電波時計の使用場所について(裏面)」および「標準電波の受信について(裏面)」を確認し、受信しやすい所に場所をかえてください。
- ・電池の容量が少なくなっている  
⇒ 新しい電池に交換し、様子を見てください。
- ・標準電波の受信機能が“オフ”になっている  
⇒ 「⑧標準電波の受信機能を“オフ”にする」を参照し、受信機能を“オン”にしてください。

#### ▼秒針が動かない

- ・秒針停止機能中である  
⇒ 当製品には周囲が暗くなると秒針が停止する、秒針停止機能がついております。
- ・自動受信中である(「【5】自動受信について」を参照ください)  
⇒ 1日3回、午前2時17分・午前3時17分・午前6時17分より開始される自動受信は秒針が停止します(正確な受信をするために秒針を停止させております)。

#### ▼当製品が操作できない

- ・静電気などの影響  
⇒ 「③リセットボタン」を押して、再度お試しください。

## お手入れについて

本体の汚れは水洗いせず、スポンジかやわらかい布に家庭用の中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いたやわらかい布で拭いてください。

▼ベンジン、シンナー、漂白剤などの薬品は使わないでください。

▼静電気などにより、当製品を掛けて使用した際に壁面が汚れる場合がありますので、定期的に汚れを落としてください。

## 当製品、電池、梱包材などの廃棄

- ・お住まいの地区自治体の廃棄方法に従ってください。
- ・当製品、電池、梱包材などは分別して廃棄してください。

- ・印刷による制限のため、この取扱説明書の図が実際の製品と異なる場合があります。
- ・この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁止します。
- ・当製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。